



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月12日

上場会社名 藤倉ゴム工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5121 URL <http://www.fujikurarubber.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中 光好  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 神山 幸一 TEL 03-3527-8111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	15,201	8.1	638	3.4	693	△9.6	522	△30.6
27年3月期第2四半期	14,058	0.9	617	2.6	766	8.4	752	△70.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 729百万円 (142.2%) 27年3月期第2四半期 301百万円 (△91.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	22.31	—
27年3月期第2四半期	32.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	32,236	23,289	72.2
27年3月期	32,546	22,700	69.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 23,289百万円 27年3月期 22,700百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	1.8	1,400	21.7	1,600	5.1	1,100	△17.1	47.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	23,446,209株	27年3月期	23,446,209株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	48,919株	27年3月期	48,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	23,397,332株	27年3月期2Q	23,397,343株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に企業業績や雇用環境の緩やかな回復基調が見られました。一方、海外においてはASEAN及び中国市場の景気減速により、株式市場が大きく変動するなど依然として先行き不透明の状況が続いております。

当社グループでは、7月に当社原町工場（福島県南相馬市）内にゴルフシャフトを製造する建屋を改築し稼働しており、また連結子会社安吉藤倉橡膠有限公司（中国・浙江省）において第二工場を建設中です。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は152億1百万円（前年同四半期比8.1%増）、営業利益は6億3千8百万円（前年同四半期比3.4%増）、経常利益は6億9千3百万円（前年同四半期比9.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億2千2百万円（前年同四半期比30.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ① 産業用資材

工業用品部門は、引き続き海外において自動車関連部材の売上が好調だったものの、国内においては生産量が減少したため増収減益となりました。制御機器部門は、液晶・半導体関連製品及び医療関連製品の受注が好調に増加したため増収増益となりました。電気材料部門は、電力・情報通信関連製品の受注が減少したため減収となったものの、生産性の改善に努め増益となりました。

この結果、売上高は94億1千8百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益は5億9千2百万円（前年同四半期比23.6%増）となりました。

#### ② 引布加工品

引布部門は、引き続き一部の自動車関連製品の受注が低迷したため減収減益となりました。印刷機材部門は、国内及びアジアでの拡販が進み、印刷用ブランケットの受注が増加したため増収増益となりました。加工品部門は、舶用品の販売数量は増加したものの、品種構成の変化により増収減益となりました。

この結果、売上高は24億1千7百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は6千5百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。

#### ③ スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、新製品『Speeder EVOLUTION II』の販売がスタートし、ゴルフ工房限定製品『PLATINUM Speeder』、『ONYX Speeder』の販売も好調に推移していることから増収増益となりました。アウトドア用品部門は、自然災害の影響もあり、主力の『キャラバンシューズ』の販売が減少したことにより減収減益となりました。

この結果、売上高は31億2百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業利益は2億2百万円（前年同四半期比25.4%減）となりました。

#### ④ その他

物流部門は、荷動きが活発になったことに加え、原油安の効果により燃料経費が減少したため増収増益となりました。

この結果、売上高は2億6千3百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は3千5百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少の322億3千6百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8億9千8百万円減少の89億4千7百万円となりました。純資産につきましては、232億8千9百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.7%から72.2%に上昇いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日（平成27年11月12日）付けで、「平成28年3月期 第2四半期連結累計業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を開示いたしましたが、通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,940,790	4,603,291
受取手形及び売掛金	8,626,422	8,394,317
有価証券	400,000	—
商品及び製品	2,069,159	2,328,827
仕掛品	2,096,376	2,210,411
原材料及び貯蔵品	622,888	679,818
その他	1,254,968	921,715
貸倒引当金	△22,563	△24,571
流動資産合計	19,988,043	19,113,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,832,135	4,110,062
機械装置及び運搬具（純額）	2,849,971	2,965,694
土地	3,185,468	3,186,244
建設仮勘定	467,337	567,548
その他（純額）	285,754	385,557
有形固定資産合計	10,620,668	11,215,108
無形固定資産		
ソフトウェア	73,580	84,549
その他	231,628	245,393
無形固定資産合計	305,209	329,942
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,695,422	1,650,976
貸倒引当金	△63,012	△72,981
投資その他の資産合計	1,632,410	1,577,995
固定資産合計	12,558,287	13,123,047
資産合計	32,546,330	32,236,857

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,689,522	2,509,808
短期借入金	3,590,907	3,159,651
未払法人税等	59,553	112,788
賞与引当金	328,677	329,771
その他	1,359,225	1,322,192
流動負債合計	8,027,886	7,434,213
固定負債		
長期借入金	250,000	20,000
環境対策引当金	33,738	33,738
退職給付に係る負債	804,906	687,195
資産除去債務	20,800	20,800
その他	708,275	751,395
固定負債合計	1,817,720	1,513,129
負債合計	9,845,606	8,947,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	14,110,384	14,492,080
自己株式	△20,084	△20,120
株主資本合計	21,107,082	21,488,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334,992	283,156
繰延ヘッジ損益	△138	△240
為替換算調整勘定	1,460,218	1,631,117
退職給付に係る調整累計額	△201,431	△113,262
その他の包括利益累計額合計	1,593,641	1,800,770
純資産合計	22,700,724	23,289,514
負債純資産合計	32,546,330	32,236,857

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	14,058,909	15,201,794
売上原価	10,691,875	11,519,862
売上総利益	3,367,034	3,681,932
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	194,080	219,236
給料及び手当	858,838	960,275
賞与引当金繰入額	103,811	94,262
退職給付費用	54,672	48,659
減価償却費	62,902	68,339
研究開発費	294,230	338,238
その他	1,181,072	1,314,533
販売費及び一般管理費合計	2,749,608	3,043,544
営業利益	617,425	638,387
営業外収益		
受取利息	9,736	10,447
受取配当金	16,433	29,655
受取賃貸料	15,676	19,913
為替差益	72,118	22,894
その他	92,889	59,945
営業外収益合計	206,854	142,856
営業外費用		
支払利息	11,294	11,101
賃貸収入原価	5,540	7,129
固定資産除却損	17,093	2,759
固定資産廃棄損	—	24,001
その他	23,793	43,060
営業外費用合計	57,720	88,052
経常利益	766,558	693,192
特別利益		
受取補償金	243,673	—
特別利益合計	243,673	—
税金等調整前四半期純利益	1,010,232	693,192
法人税、住民税及び事業税	186,081	127,459
法人税等調整額	71,751	43,652
法人税等合計	257,833	171,111
四半期純利益	752,398	522,080
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	752,398	522,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△724	△51,836
繰延ヘッジ損益	△2,837	△102
為替換算調整勘定	△446,479	170,899
退職給付に係る調整額	△1,303	88,169
その他の包括利益合計	△451,344	207,129
四半期包括利益	301,054	729,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,054	729,210



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布 加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	8,748,132	2,195,512	2,855,717	259,547	14,058,909	—	14,058,909
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	63,079	63,079	△63,079	—
計	8,748,132	2,195,512	2,855,717	322,626	14,121,989	△63,079	14,058,909
セグメント利益	479,794	63,817	271,433	32,976	848,021	△230,596	617,425

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去134千円及び各報告セグメントに配分していない  
全社費用△230,730千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門に  
かかる費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布 加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	9,418,127	2,417,490	3,102,602	263,573	15,201,794	—	15,201,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	59,541	59,541	△59,541	—
計	9,418,127	2,417,490	3,102,602	323,115	15,261,335	△59,541	15,201,794
セグメント利益	592,917	65,267	202,505	35,723	896,413	△258,026	638,387

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去197千円及び各報告セグメントに配分していない  
全社費用△258,223千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門に  
かかる費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。